

# 松りハだより

松山リハビリテーション病院

2012  
12号

発行日  
平成24年10月

発行者：医療法人財団 慈強会 松山リハビリテーション病院 TEL089-975-7431 FAX089-975-1670 <http://www.jikyoukai.or.jp>

## 「患者様に選ばれる病院」を目指して

当院では、各部署ごとのスキルアップ研修はもちろん、職員全体での情報共有を目的としたものなど年間に様々な研修会を実施しています。

研修会では当院の医師・セラピストなどが講師を努めたり、各方面で活躍している院外の先生方をお招きすることもあります。年次計画に掲げた「患者様に選ばれる病院、選ばれ続ける病院」を目指して職員一丸となって研鑽を続けています。

### ■出張報告・研究発表会

出張報告・研究発表会は、職員が日頃の勉強・研究の成果を全職員に発表することで、情報の共有を図ることを目的として年2回実施しています。

8月22、23日行われた、今年度第1回目の報告会でも、様々な知識・情報の報告がありました。最後に木戸院長より「研究成果は院内だけでなく、対外的にも発表できるものであり、今後も積極的に機会を見つけてアピールしていきましょう」との総括がありました。



### ■接遇全体研修

接遇研修は、毎年春(新入職員対象)と秋(全職員対象)に行われます。9月12～14日の3日間に分けて行われた秋の接遇全体研修では、院外より講師をお招きし、『「気づき」～目配り・気配り・心配り～』をテーマにロールプレイングを交えた講習を行っていただきました。

接遇の五原則である「あいさつ、笑顔・表情、態度、言葉遣い、身だしなみ」の大切さを再確認するとともに、「自分は見られていない」「忙しいから」などを理由として、接遇の基本をないがしろにしてしまうことなく、常に患者様・ご家族様の立場に立って対応をするという基本の意識改善を行う良い機会となりました。

### ■川平法実技講習

8月19日(日)四国で初となる「促通反復療法(川平法)」の実技講習会が開催されました。

川平法とは、鹿児島大学大学院リハビリテーション医学の川平和美教授により開発されたリハビリ法で、患者の麻痺した手足を操作し神経回路にピンポイントで刺激を与えることを繰り返すことにより、必要な神経回路の再構築と強化を促進する方法です。このリハビリは、これまで機能回復が困難とされていた脳卒中による片麻痺にも有効とされています。

今回の講習会には直接川平教授より実技指導が受けられることもあり、全国各地から参加がありました。当院の医師・セラピストも加わって、新たなリハビリ法の習得に熱心に取り組みました。



【年間の全体研修】※この他に部署別の研修を行っています。

- ・新入職員研修
- ・年次計画発表会
- ・役職者研修
- ・考課者研修
- ・接遇全体研修
- ・出張報告研究発表会
- ・年次計画中間報告会
- ・医療安全管理研修
- ・感染防止対策研修 など…

# 就任医師紹介

6月より  
勤務しています！



ばん どう ふみ ひろ  
**坂東 文博 医師**  
(内科)

愛媛大学医学部卒

日本内科学会 認定総合内科専門医  
日本消化器病学会 認定消化器病専門医  
日本消化器内視鏡学会 専門医  
日本医師会 認定産業医

趣味 ウォーキング  
一言 よろしくお祈りします

7月より  
勤務しています！



まつ おか だい すけ  
**松岡 大輔 医師**  
(内科)

熊本大学医学部卒

日本内科学会 認定内科医  
日本循環器学会 認定循環器専門医  
日本心臓リハビリテーション学会  
心臓リハビリテーション指導士

趣味 散歩・テニス  
一言 どの職種も活気のある職場と  
感じています。チーム医療の一員として少しでも役に  
立てればと思います。

9月より  
勤務しています！



みや うち こう すけ  
**宮内 浩介 医師**  
(リハビリテーション科)

愛媛大学医学部卒

日本耳鼻咽喉科学会  
認定耳鼻咽喉科専門医

趣味 音楽鑑賞  
一言 リハビリテーションの  
熱いハートを感じます。

## リハビリテーション講座 vol.6

Rehabilitation Course

### モデルルーム

早く元気になって家に帰りたい…。入院中の方は誰もそう思われています。しかし初めての外出や外泊では、慣れているはずの御自宅でも身体が思うように動かない事もあり、「思った以上に疲れた」といった感想は、実はよく聞かれます。

そのような体験を少しでも解消する為、当院リハ棟の2階にある作業療法室には、一般家庭と同じような作りをしたモデルルームを備えております。手すりを使用しての移動や階段昇降、和室の床での座り動作、洗濯・調理訓練なども導入して、様々な自宅での生活を想定した訓練を行うことが可能です。出来る限り御自宅に近い状況で訓練を行うことで、初めての外出や外泊でも自信を持って臨む事が出来ます。外出・外泊が成功すれば、自信も深まり、早く良くなって家に帰りたいと思う気持ちもさらに強くなります。

1日でも早い回復と御自宅復帰を実現する為、モデルルーム内では日々訓練を行っています。



台所



玄関から  
キッチンへ  
続く廊下



洗面所



浴室



玄関



## 回復期リハビリ認定看護師の 今年度の活動状況

回復期  
リハビリシリーズ  
vol.2



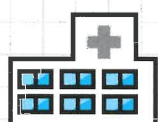
今年度は、4月の新人研修に始まり、5月と7月に高次脳機能障害勉強会シリーズ第3、4回を行いました。また、定期的に“リハ子の日記”の発行も行っています。

新人研修では、毎年、リハビリテーション看護を中心に疾患(脳血管疾患・整形外科疾患)や高次脳機能障害・失語症などの講義を行っています。当院の特長の理解とリハビリを行っている患者様の状態や関わり方について、基礎知識の獲得が出来るよう講義内容を構成しています。研修では、長時間にも関わらず真剣な表情で聞き入る頼もしい後輩の姿を目にします。リハビリテーション看護に興味を持ち、取り組んでもらえることを期待して研修を行っています。

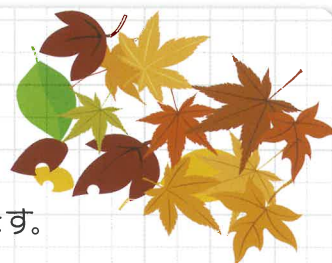


全体研修として、前年度からシリーズで行っている高次脳機能障害の勉強会を、引き続き2ヶ月に1回のペースで行っています。

今年度、第3回は失行・失認について、第4回は半側空間無視・半側身体失認について行いました。1回30分程度の講義ですが、多数の方が参加しており、関心の高さがうかかえます。講義については、毎回試行錯誤の繰り返しですが、今後もより質の高い研修ができるよう頑張ります。



## 医療安全情報



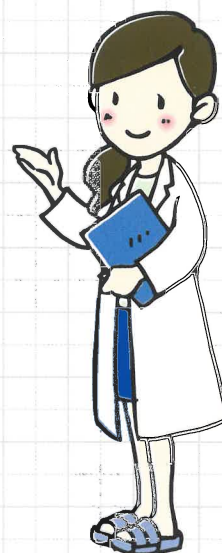
今回は、「患者サポート支援」の取り組みについてご紹介したいと思います。

患者サポート支援チームが関わる相談には、疾病に関する医学的な事柄、生活上の不安、病院設備に関すること、スタッフに対する要望等、多岐にわたっています。

ご意見を有効に活用し、病院組織全体で患者・ご家族様方に安心した医療・看護・介護・福祉サービスを提供すると共に、より良いコミュニケーションを促進し、信頼関係を構築することを目的としています。

ご意見箱へ投稿(記載)された内容以外にも、各部署を訪問し、聞き取り調査を実施しています。これらの相談、聞き取り調査での情報を共有するため、カンファレンスで議題提起し、患者・ご家族様へのサポート支援介入の必要性について討議をしています。

あらゆる事例に結論を出すだけでなく、「やはりこの病院でよかった」と思ってもらえるように、事例関係者に心理的余裕を回復させ、意見が異なる時も相手の意見・要望に耳を傾けていける良い環境を作り出せるよう、エンパワメント向上を目指していきたいと思ひます。



## 部署紹介 —— 看護部



### 学生実習の受け入れ

看護部では、今年度も看護学生の実習を受け入れています。当院で実習をしているのは、愛媛大学医学部看護学科、河原医療大学校、松山城南高校看護科専攻科、松山看護専門学校准看護師科の4校です。実習の領域は成人看護学と老年看護学で、学校によって異なりますが、成人期、老年期における健康レベルに合わせた看護を学んでいます。

臨地実習は、学校での各看護学の講義・演習で得た医学的知識や技術を臨床の場で実際に対象に実践し、既習の理論や知識、技術を統合し、深化させ、検証するための『授業』と位置付けられています。看護の現象を通じて看護の方法を「知る」レベルから「わかる」、さらには「できる」レベルへ到達できるよう指導しています。病院が学生実習を受け入れるためには、愛媛県が開催する3ヶ月間の実習指導者講習会を受講した看護師を配置しなければなりません。当院にはその講習会を修了した看護師が10名(今年度はさらに3名が受講する予定)おり、その看護師たちが中心となり各病棟のスタッフの協力を得ながら教員と連携し、学生指導に取り組んでいます。病棟の看護師は日々の業務を学生に見せ、患者の安全を守りながらケアや処置を学生と共に実施し、学生が実施したケアや処置が未熟な場合は必要に応じてカバーするなど、学生それぞれが持っている力が十分に発揮できるように関わっています。当院での実習が有意義で、それぞれの学生の看護観形成の一助になればと願っております。



(財)日本医療機能評価機構認定病院

医療法人財団 慈強会 **松山リハビリテーション病院**

〒791-1111 松山市高井町1211番地  
TEL.089-975-7431 FAX.089-975-1670  
ホームページアドレス <http://www.jikyokai.or.jp>  
許可病床 326床・6病棟(回復期病棟160床・一般病棟116床・療養病棟50床)  
日本リハビリテーション医学会研修施設

●交通のご案内 久米駅より伊予鉄ループバス約15分 タクシー約5分  
●関連施設紹介

介護老人保健施設 高井の里  
TEL.089-975-7761 FAX.089-976-5779

東松山在宅ケアセンター  
東松山訪問看護ステーション TEL.089-975-7425  
東松山居宅介護支援事業所 TEL.089-975-6158  
東松山訪問介護事業所 TEL.089-970-1238

社会福祉法人 慈光会 介護老人福祉施設 ていれぎ荘  
TEL.089-975-5558 FAX.089-975-9300

〈松山市委託事業〉松山市地域包括支援センター 小野・久米地区  
TEL.089-970-3761 FAX.089-975-7620

